IMA*d.α2030 PR

独自ノウハウで外国人「介福士」を輩出

アイメイドアルファ（東京都新宿区）は、団塊世代が後期高齢者となる2025年問題、団塊ジュニア世代が65歳以上となり高齢者数がピークを迎える2040年問題を踏まえ、現状の社会問題である介護職人材不足の解消、及び介護の質の低下の改善に貢献すべく、介護分野の人財育成に正面から取り組んでいる。必要な職業倫理を身に付けた外国人介護職人材の輩出を目指し、未経験、無資格の人材が介護福祉士資格を取得するまでの道のりを、介護福祉士プログラム・介護福祉士国家試験対策（以下、国試対策）でサポート。この受講生が今年の国試を受験、合格率が95％を達成し、第1回目の紙面で国試対策の特徴について紹介しました。

アイメイドアルファ
介護士育成センター
小野昭尋センター長

今回は、国試対策チームについて介護士育成センター責任者の小野先生にインタビューします。小野先生はアイメイドアルファ社の介護士育成センター長をされています。よろしくお願いします。

Q 21名の合格による合格率95％達成おめでとうございます。

ありがとうございます。全員合格を目指して取り組んできたので、結果に満足はできませんが、受講者が頑張った結果です。不合格だった受講者も来年の再試験に向けて100点以上で合格を目標に頑張っています。

Q 小野先生の経歴と、介護士育成センターについて教えてください。

私は、措置時代より高齢者介護を中心に介護福祉士として現場での直接介護や介護事業所運営を経て、介護福祉士実務者研修（以下、実務者研修）やその他、介護関連の講師として国籍を問わず多くの修了者を輩出してきた介護講師です。

介護士育成センターは、質の高い介護福祉士育成を目的として作られ、介護福祉士で日本語講師も担う北村、EPAで介護士として日本の介護現場を支えたニュン、そして私の3人が中心となり国試対策を行います。また、サポーターとしてモンゴル語担当のドルマ、中国語担当の藤原を配置する介護教育専門の部署です。

現在、当社は東京、千葉、岐阜で日本語学校を運営しております。また、群馬、京都にもパートナー校があり、各校で日本語教育と並行し介護特定技能試験合格に向けた学習に取り組んでいます。自社で県認可を受け実務者研修を実施していますので、在校期間内に実務者研修を修了します。各校の日本語講師、ネパールやミャンマーのスタッフにも応援してもらいながら介護職の道を進んでいきます。卒業後は仕事と介護学習を両立させ、一段一段上るよう、国試対策へ歩を進めます。

Q 国試対策の準備にはどれぐらい時間を要しましたか？

実際に国試対策が動き始めるまでに4000時間以上を費やしました。期間も1年以上となりました。

Q それほどの準備期間が必要になった理由はなんですか？

北海道から沖縄まで、各地で活躍している外国人介護士の皆さんが自宅で学習できるオンライン学習システムの構築・整備にかなりの時間を費やさざるを得ませんでした。

▶介福士試験に合格した外国人受講生21名

「第2の故郷の家族」として不安に寄りそう

Q 全国の受験者が授業で一堂に会するのは可能だったのですか？

職種上、日勤、早出、遅出、夜勤などさまざまな勤務時間がありますので、講座を平日の午前、午後、夜間の3部制に分け、毎週のシフトに合わせ授業予約できる仕組みにしました。

Q 国試対策が始まった当初の様子はいかがでしたか。

受講者の皆さんは画面上に見る日本人講師を恐々しく様子を伺っている感じでしたね。日本語力も不安だったようです。

Q 国家試験の学習ですから、受講者が授業内容について行けなかったことはありますか。

事前に想定していたことですね。母国語対応の講師を配置することと、授業で使う日本語を簡単な日本語に置き換えることで、分からないという問題はありませんでした。むしろ覚えることが多いことに苦労していました。

Q 学習期間はどれぐらいかかりましたか？

初めての取り組みとなった1期生は暗中模索のなか、約20ヵ月間をかけて学習に取り組みました。

Q 長期間の学習で何が一番大変でしたか？

最も苦労したことは、国家試験受験日まで受講者のモチベーションを維持、向上させ続けることですね。じじりじりと迫る受験の圧力に、学習を進めるほど受講者は不安が募ります。「自分には無理だ」「自信が無い」「自分は頑張れない」など諦めたい心の弱い部分を講師陣で個別に受け止めながら支え導きます。「指導」と「支導」を使い分け、遠く家族から離れて日本で頑張る受講者に対して第2の故郷の家族を感じられるように、とことん不安に付き合う覚悟で乗り越えました。

Q 受験直前はかなり大変だったのではないですか？

仰る通りで、受験月の1月に入ると受講者の不安はピークを迎えました。問題を解くほど1問のミスが不安感を増し、自分だけが不合格になるのではないかと自分を追い詰め、受験前日の夜に「明日、試験に行かないかもしれないけど、先生怒りますか？」と泣き声で電話をくれた人もいます。自分と家族の将来がかかっていることを最も身近に感じた時期だったようです。

Q 具体的に国試対策はどのような学習内容ですか？

構成は大きく5つに大別できます。①国試まなべる君。これはテキストを見ながら約200本の講義動画を見る学習で、受講者が挑む介護福祉士受験学習の全体像が把握できます。②オンライン授業。専属講師、母国語講師などが週1回2時間程度のオンライン授業を行うことで、一つひとつ、学習内容を丁寧に理解することができます。③アプリ学習。専用のアプリを使ってスマホやタブレットなどで隙間時間にクイズ形式の問題や専門用語の読み書きなども覚えることができます。④5ヵ月特訓。受験5ヵ月前から、独自分析から導き出した外国人向け問題集やさまざまな模擬試験、オンライン模試解説などで知識定着することができます。⑤100時間マラソン。1ヵ月間で100時間を超える自習をオンラインで実施。図書館のようにオンライン上で好きな時間帯に自由に出入りし、講師が常駐する環境で気軽に疑問に答えたり、相談を受けたり、参加している友達と問題を出し合ったりする取り組みです。このほかにも数多くの取り組みを行っています。

Q 一般的な対策講座に比べ内容が充実しているように感じますが、ここまで手厚くするのは何故ですか。

会社的にはスローガンである「社会の人材ニーズに幅広く対応し、アジアの若者に明るい未来を提供すると共に、日本及びアジア諸国の発展に寄与する」を実現するためです。個人的には、介護福祉士として介護教育を通じ、ご利用者やそのご家族、受験者、介護事業所の皆さんに笑顔でいてほしいからです。

Q 受験後不合格になった場合、国試対策は終了ですか？

次回合格に対し強い意志があり、本人が希望する場合はしかるべき対応で受験者の情熱に応えます。

Q 介護福祉士受験で合格するために重要なことはなんですか？

最も基礎となることは日本語能力です。受験に必要な最低日本語能力はN3相当ですが、これでは合格ラインを割ることも多いです。N2相当の日本語能力が合格の鍵です。

Q 御社の国試対策の特長は何ですか？

学習以外に・メンタルサポート・受験申込サポート・合格後の介護福祉士登録サポートまで、受験から登録までを一貫サポートすることが大きな特徴です。介護学習を通じて、職場でも生かせる知識、介護職を誇れる意識作りも念頭において、単に授業を行うのではなく受講者が主役の物語を描いていく心通う講座を実施しています。

Q 受講者から国試対策に対する感想はいかがでしたか？

ウェブサイト上で合格発表が一番早く見られますが、発表開始後、一人、また一人、結果と同じ職場の職員さんや運営者の方々から賞賛されたことなど、しばらくメッセージが鳴りやみませんでした。皆さんが口をそろえて「先生達のおかげです」と喜びを伝えてくれました。1回では合格は無理だと言われている受講者も多かったようで、同じ会社の方々の驚きと喜びもひとしおだったのではないでしょうか。

Q 最後にこの記事を読んでいる読者の方にメッセージはありますか。

介護に求められることは、命を預けるに足る支援を、「受ける側」の視点で実践し、組織として専門性の高い仕事として誇れることではないでしょうか。私達は介護教育を通じ、命を支える介護士育成に真剣に向き合っています。もし、この言葉が届きましたら一度、話を聞いてみてください。私は一人の介護福祉士としてこの国試対策について胸を張ってお勧めします。

お問い合わせは 株式会社アイメイドアルファ 東京都新宿区下落合1-1-1 TEL：03-5358-9866 mail：info@ialpha.jp